



「ピョンチャンオリンピックに学ぶ」

校長 永瀬 嘉之

ピョンチャンオリンピックが終わりました。過去最高のメダル獲得数に代表されるように日本選手の活躍で大いに盛り上がった大会でした。開催前は南北問題やアメリカとの関係等の政治色が前面に出て、オリンピック本来の持つ意味や意義が薄れてしまい盛り上がりにも欠くようにも感じられました。しかし始めてみるとスポーツの持つ純粋さやさすがさが本当に素晴らしい大会になりました。そこで私は三人の日本人選手に注目しました。

一人目は羽生選手です。フリーの演技が終わった直後、彼は「勝った。」と叫びながら滑走しました。音声は届きませんでした。が口元は確かに「勝った。」と叫んだと私は思いました。報道では「勝利の確信」などと書かれていましたが、私は彼が戦って勝ったのはライバル達ではなく、彼自身だと思えます。苦しいリハビリの中折れそうな気持ちと戦って最高の演技をした彼は「自分に勝った。」と叫んだと思っています。いろいろなところで他人と戦う場面はありますが、究極戦う相手は自分自身だと思えます。逃げずに目いっぱい自分と戦う姿を見習いたいと思えます。

二人目は小平選手です。500mの優勝の後のインタビューで流暢なオランダ語で受け答えしています。彼女は前回のオリンピックの後成長を求めて単身オランダ留学をしています。技術ではなく「コミュニケーション」がまず必要だと考え、オランダ語を積極的に学んだそうです。2年目には不自由なく話せるようになり、格段に力もアップしたと聞いています。オランダに学ぶならオランダ人になりきるという姿勢が彼女の成長を加速したと思えます。伸びることの優先順位を考えさせられました。ちなみに彼女は韓国語も話せるそうです。そうだからあの友情の絆が築けたのでしょうか。

最後は葛西選手です。大ベテランでありチームの精神的な支えであることは間違いありませんが、彼が団体戦でメンバーに入れなかった選手やスタッフと共に他の団体メンバーの面倒を見ている姿が印象に残りました。経験豊富な選手だからできることではありますが、自己犠牲の上でチーム全体を考える姿は本当に素晴らしいもので、だからこそ後輩から慕われ、目標とされる選手であり続けられるのだと思えました。そして、残念な結果だった次の日に、「次のオリンピックを目指す。」と言える魂とチャレンジ精神には頭がさがります。

他にも多くの選手の多くの場面から学ぶことができました。本当に書ききれないくらいです。表面的な部分だけでなく裏に隠されていることや細かな言動に注目するとまた違う視点の学びがあると思えます。

オリンピックが終われば次はパラリンピックです。また多くの感動と多くの学びがあると思えます。期待して観戦しましょう！

平昌オリンピック・パラリンピック



《祝》第33期 卒業記念特集！



【31R 新宮美也子先生】

皆さんはいわば攻略本のない冒険に出発するようなもの。自分が動き、経験して作り上げる、自分の人生という名の『冒険の書』。他の冒険者たちをそれほど気にすることはありません。似たようなものです。

さあ、期待と不安に満ちた、世界に二つとない『冒険の書』作り開始です！

どこにいても応援しています。頑張ってください。

【32R 杉尾裕邦先生】

2年間、担任をさせてもらってありがとうございます。最後の冬は進路決定で、一緒に大いに悩みましたね！

でも、これが終着点ではありません。もっともっと立派になってください。

【33R 梶山留未先生】

卒業おめでとうございます。この3年間を通して、皆さんと一緒に私も大きく成長できたように思います。

様々なことを考えさせてくれてありがとう。大きな優しさを、たくさんの思い出をありがとう。

皆さんと出会えたことに感謝します。これからも温かい皆さんでいてください。体に気を付けて、いってらっしゃい！

【34R 寺井直先生】

松江東高校で過ごした3年間、楽しいこともあれば苦しいこともあったことでしょう。経験したすべてのことがみなさんを成長させてくれました。

今後は、これまでに得たことを糧に新しいステージで活躍することを祈っています。



三送会・卒業式



【祝】卒業



東雲祭



【35R 内田まどか先生】

卒業おめでとうございます。明るさ、優しさが印象的で、土壇場での頼もしさも感じた33期生。みなさんとともに過ごした時間は私にとって大切な経験になりました。ありがとう。

これから新しいステージで、「今」を大切に、明るい「未来」につなげてください。みなさんの活躍を楽しみにしています。

【36R 山崎慎司先生】

卒業おめでとう。苦しいこともありました。その何倍もの感動を皆さんからもらいました。今は感謝の気持ちでいっぱいです。「楽しく、厳しく」を胸に、色々なことに挑戦してください。

♪遠く遠く離れていても
僕のことわかるように
力いっぱい輝ける日を
この街で迎えたい・・・

卒業おめでとう！！



部活動 主な成績紹介

【サッカー部】 県新人大会: 2回戦敗退

【ハンドボール部】 県新人大会: 男子第2位、女子第4位
中国新人大会: 男子準々決勝敗退。女子リーグ戦敗退

【剣道部】 県新人大会: 男子団体: 2回戦敗退、女子団体: 3位(中国新人大会出場)

【男子バスケットボール部】 県新人大会: 第3位(ベスト5賞: 小笠原)

【女子バスケットボール部】 県新人大会: 第2位(ベスト5賞: 倉光)

【男子テニス部】 県新人大会: 団体ベスト8

【女子テニス部】 県新人大会 1回戦敗退

【女子ソフトテニス部】 県新人大会 女子個人ベスト16: 安部・土江

【女子バレーボール部】 県新人大会 2回戦敗退

【弓道部】 中国新人大会: 予選敗退

【書道部】 高校書道展: 最優秀賞(三好亜美)

「税について考える書道パフォーマンス」披露
(11月12日イオン松江)

全国大会 壮行式

【ボート部】 【アーチェリー部】

ボート部とアーチェリー部は3月に行われる全国高校選抜大会に出場します。3月9日に壮行式が行われ、全校生徒から激励を受けました！

※この他にもたくさんの活動をしています。紙面の都合によりすべては掲載していません。詳細な報告やその他の多くの活動を掲載していますので、ぜひ本校のHPをご覧ください。

東高 アラカルト

人権講座 (1年生)

2月14日(水)、1年生を対象に人権講座が行われました。「『自分を知る』～すべての心を大切にするために～」というテーマで臨床心理士の小村俊美先生にお話をいただきました。

社会人講話 (1年生)

2月8日(木)、1年生を対象に社会人講話が行われました。島根県で活躍している10人の東高の先輩方を講師に招き、各教室でお話を伺いました。

ふるさと講座 (3年生)

2月8日(木)、3年生の出校日に合わせて3年生対象のふるさと講座が行われました。

ふるさと島根定住財団の中澤雅美キャリアコーディネーターから島根県の現状や働くことなどについて、卒業を前にしたメッセージが送られました。

模擬裁判 (1年生)

2月6日(火)、島根県で働く弁護士の方々をお招きし、1年生を対象に模擬裁判を行いました。弁護士の方々が実際の刑事裁判通りの役を演じ、生徒が裁判員として参加するという想定で、裁判員として活発な評議が行われていました。

島根大学学生とのワークショップ (1年生)

2月15日(木)4限、島根大学の学生と本校1年生(11R)とのワークショップが開催されました。生徒にとっての目的の一つは、「ルーブリックを用いた自己評価を試行し、自分の良さと課題を発見すること」でした。前日の人権講座で臨床心理士の小村俊美先生にお話を聞き、おおまかに自分がどういう特性を持っているのかプロフィールし、自分がどういう人間なのか、そこから今度は相手をどういうふうに見るのか、どのように付き合っていくのかを考える講座でした。総合的な学習の時間で取り組んでいる「理想の島根」について、その考えを深める契機にもつながったようです。

教育課程実践モデル事業 紹介

1月25日(木)に、平成29年度「教育課程実践モデル事業」実践研究校中間報告会 及び 研究授業・公開授業が行われ、モデル事業初年度のまとめが行われました。本校が県から2年間の指定を受け、主に授業改善について研究をするといった事業です。詳しくは、ぜひホームページをご覧ください。

<http://www.matsuehigashi.ed.jp/profile/model/>



主な行事予定

【3月】

23日 終業式・離任式
27日 入学予定者会
補習科入試
29日 補習科合格発表

【4月】

9日 始業式 補習科入科式
10日 入学式
13日 スタディーサポート(1年)
19日 防災避難訓練(火災)
23日 3年進研記述(~24日)
24日 スポーツテスト・身体測定
25日 遠足
26日 ETC①(1,2年)
立会演説会・生徒会長選挙

【5月】

1日 生徒会専門委員会
9日 生徒総会
10日 週休日振替(5/12)
11日 中間試験(~15日)
12日 PTA総会
16日 壮行式
17日 総体激励週間(~6/3)
26日 前期高校県総体(~27)
30日 後期高校県総体(~6/3)

島根県立松江東高等学校

〒690-0823 島根県松江市西川津町510番地
TEL: 0852-27-3700(代表) FAX: 0852-27-3703
HPアドレス <http://www.matsuehigashi.ed.jp/>

学校だより「EAST NEWS」(カラー版)はホームページにも掲載しています。バックナンバーもありますので、ぜひご覧ください!!

編集・発行 松江東高校総務部